



東地申第19号

「2020年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ【渋谷駅】

団体交渉を開催する！ その①

1. 施策実施の目的および提案内容で運営できる根拠を明らかにすること。

回答:当社グループの持続的な成長のため、引き続き効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築していく。渋谷駅においては、玉川改札廃止に伴う業務量の変化に鑑み、提案内容で運営可能と考えている。

組合：『効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築していく』とある。施策実施によって人を減らすだけではなく、安全・教育・サービスレベルを維持、向上させていくことでより良い施策となっていくと考えるが認識は合うか。

認識一致！！

会社：その通りである。蔑ろにする考えはない。

組合：出札窓口の体制変更について現場からは多くの不安の声が出ているが変更する理由を具体的に示すこと。

会社：玉川改札への応援がなくなること。また、昨年10月からの窓口ごとの発券状況を鑑みて、対応が出来るかと判断している。

組合：今回の施策で△9になると示されているが、6月に埼京線移設に伴う施策を実施して以降、乗客パートでは要員が足りないと言われている。そのため、出改札からの応援も毎月多く発生している。各パートで運営できる体制にするべきだ。

会社：駅総体の要員は確保していると考えますが、引き続き必要な体制について取り組んでいく。

組合：現場では輸送のプロが足りない、育てるべきだ。どのように教育を実施しているのか。

会社：社員の多能化を考え、各個人に合わせて担務の特性やOJTを基本としている。内容やスケジュール感は本人の声をふまえて管理者が判断をしながら実施している。

組合：社員の多能化と言うが、月に1度のみ乗客に入っている方もいる。これでは安全レベルが向上しない。このようなやり方は穴埋めになっているとしか考えられない。

会社：安全を蔑ろにはしていない。安全レベルを向上していくために、コミュニケーションを取りながら育てていく。

～その2へつづく～



“安全第一・健康第一”で“安心・ゆとり・働き甲斐”のある
風通しの良い健全な職場を全組合員で創造しよう！





ホームページ



Twitter

東地申第19号

「2020年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ【渋谷駅】 団体交渉を開催する！ その②

2. 出改札において、これまでの混雑緩和やそれに伴う超勤削減に向けた渋谷駅における対策を具体的に示すとともに、今後の考え方について明らかにすること。

回答:お客さまのご利用状況に応じ、必要な体制を確保してきたところであるが、引き続き状況を見極めていく考えである。

組合: 今回の施策で泊まり窓が減るだけではなく、各窓口の営業時間も短縮とされた作業ダイヤが現場では示されている。どこがそのような判断するのか。

会社: 各窓口の営業時間は、業務の変化点などを見て現場で判断をしている。

組合: これまで日勤窓口が混雑により延長発売をおこなってきたことや、窓口が営業時間に閉めることが出来ない事象が発生していることが現場から報告されているが、支社としての認識は。

会社: そのような事象があったことは把握していない。

組合: この間、現場では具体的な対策が実施されていない。**現場を把握していない中で本当に良い施策が実施できるのか!?**

会社: 本日の議論内容は現場へ伝え、具体的な対策を実施できるようにしていく。

組合: 繁忙期に対応ができる作業ダイヤが示されていないが作るのか。

会社: 現場の実態に応じて作成することは可能である。

3. 育児介護勤務を適用する社員が、渋谷駅において希望をもって活躍することができる根拠を具体的に示すこと。

回答:仕事と育児や介護の両立支援を含め、多様な人材がその能力を最大限に発揮し、仕事上の責任を果たすとともに、やりがいや充実感を持ち、いきいきと働くことができる企業を目指していく。

組合: やりがいや充実感とはなにか。

会社: 管理者とのコミュニケーションをしっかりとこないながら、オーダーメイド型の働き方を用意していく。

組合: 渋谷駅においては、今後復帰をし育児介護勤務に従事する方もいると聞いている。回答されている通り、不安がなく渋谷駅において勤務ができる環境を作っていくべきである。

会社: 駅の短時間ダイヤの組み方は様々できると考えている。駅の特情を加味して現場長の判断で作業ダイヤを作成することは可能である。

4. 作業ダイヤについて、不都合がある場合には、社員の意見を十分に把握し働きやすい作業ダイヤに変更をおこなうこと。

回答:作業ダイヤは、お客さまのご利用状況を踏まえ、駅長による定例的な業務指示・命令を図式化したものである。

組合: 現場でより良い作業ダイヤに変更をしていくことは可能ということで良いか。

会社: 実態や様々な意見を踏まえて、最終的には現場長の判断になるが、変更することは可能。

**今後も J T S U - E 東京地本は現場の声を基礎に
団体交渉を行っていきます！！**